**平成２５年度採択プログラム　中間評価調書**

**博士課程教育リーディングプログラム　中間評価調書**

|  |
| --- |
| **Ⅰ．リーダーを養成する学位プログラムの確立** |
| 以下１．～５．について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。また、取組を推進した者・部署、体制整備を主導した者・部署や学内外部署協力体制については可能な範囲で記入するよう留意してください。（例：○○長主導の下・・・／○○と△△の連携の下、～の体制を構築した。） |
| １．優秀な学生をグローバルに活躍するリーダーへと導く一貫した学位プログラムが整備されているか（プログラムの整備）  （優秀な学生を俯瞰力と独創性を備えたリーダーへと導く一貫した学位プログラムが整備されているか、プログラムの構築に当たり産業界等外部の意見をどのように取り入れているかという観点も含め具体的に記入してください。） |
| ２．コースワークや複数専攻制、研究室ローテーションをはじめ教育指導の内容が広範かつ体系的に整備されているか（カリキュラムの整備）  （プログラムの人材養成目的に応じた幅広い知識を学生が実質的に修得できる工夫がなされているかという点も含め具体的に記入してください。） |
| ３．専門分野の枠を超えて第一級の教員と緊密に議論するなど充実した研究指導が行われているか（研究指導の充実）  （学生が専門分野のみならずその枠を超えた分野も含め、俯瞰力と独創力を養成する研究指導も行われているかという点についても記入してください。） |
| ４．優秀な学生が主体的に学内外で切磋琢磨し刺激し合う魅力的な取組が行われているか（切磋琢磨し合う取組の実施）  （学生が主体的に独創的な研究等を計画、実践できる工夫がなされているか、学生が学修研究に専念できる組織的支援が構築されているかという点も含め具体的に記入してください。） |
| ５．学生の在籍する研究科・専攻との緊密な連携の下、学生への過度な負担の軽減にも配慮したカリキュラムとなっているか（学生の在籍する研究科・専攻との連携）  （カリキュラムを整備するにあたり、学生への過度な負担を軽減するために、学生の在籍する研究科・専攻とどのような緊密な連携や取組、対策を行っているかについて具体的に記入してください。） |

|  |
| --- |
| **Ⅱ．産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性** |
| 以下の１．～５．について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。また、取組を推進した者・部署、体制整備を主導した者・部署や学内外部署協力体制については可能な範囲で記入するよう留意してください。（例：○○長主導の下・・・／○○と△△の連携の下、～の体制を構築した。） |
| １．学生が俯瞰力や独創力等の汎用力を身に付けることができる見通しが得られているか、また、学生自身が成長を実感しているか（汎用力の育成）  （プログラム申請時に掲げた学生が修得すべき能力についていかなる指標を持って測り、学生を育成しているのか、その結果として学生自身がどの程度成長を実感しているのか、という観点から具体的に記入してください。） |
| ２．産学官民等の機関等が改革理念を共有しプログラムに積極的に参画しているか（外部機関の参画） |
| ３．修了者が各界のリーダーとしてグローバルに活躍する多様で具体的なキャリアパスの見通しを提示できているか、また、学生が多様なキャリアパスの可能性を明確に理解しているか。さらに、キャリアパス開拓のため、専任のプログラム担当者の配置や企業の人事担当者へのはたらきかけなど具体的な取組が進められているか（キャリアパスの見通し）  （修了生のキャリアパスの多様性について、プログラム開始前と比較した目標（特にアカデミア以外にどの程度輩出するか）を含めて記入してください。また、本プログラムの修了者がある場合についてはその就職先についても記入してください。） |
| ４．共同研究やインターンシップをはじめ実践性を備えた効果的な研究訓練等が行われ、各学生に対して産学官民等の各界より高い評価が得られているか（学生への外部からの評価） |
| ５．修了者の社会での活躍状況を長期にわたり把握する仕組みの構築に向けて具体的な取組に着手しているか（把握手法の構築） | |

|  |
| --- |
| **Ⅲ．グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備** |
| 以下１．～５．について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。また、取組を推進した者・部署、体制整備を主導した者・部署や学内外部署協力体制については可能な範囲で記入するよう留意してください。（例：○○長主導の下・・・／○○と△△の連携の下、～の体制を構築した。） |
| １．国内外の多様なセクターから第一級の教員を結集した密接な指導体制や、メンターやＴＡの活用をはじめ組織的な支援体制が構築されているか（指導体制の構築）  （学生１人当たりの指導教員数（プログラム担当者）、産業界経験のあるプログラム担当者数も含め具体的に記入してください。） |
| ２．プログラム担当者、それ以外の学生の指導教員等の学内関係者のみならず、大学全体として改革理念を共有し共通理解をもって改革を推進・協力しているか（改革意識の共有） |
| ３．外国人学生・教員との関わり及び外国語の使用等によるグローバルな教育研究・生活環境が確保されているか（グローバルな環境整備） |
| ４．卓越した海外機関との連携・交流により国際競争力ある国際ネットワークが形成されているか（国際ネットワークの形成） |
| ５.プログラムにおける教育活動の状況  　本学位プログラムの教育活動について記入してください。  （各年度3月31日現在）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 区分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | | (1) 主専攻以外の分野の授業等の履修科目数（１人当たり） | 科目 | 科目 | 科目 | | (2) PBLなど課題解決型学習を取り入れた授業科目数 | 科目 | 科目 | 科目 | | (3) ①研究室ローテーション　※名称不問（参加した学生の数） | 人 | 人 | 人 | | ②研究室ローテーション　※名称不問（回った研究室の数／１人当たり） | 研究室 | 研究室 | 研究室 | | (4) 企業へのインターンシップ派遣学生数（国内）  （うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | | (5) 企業へのインターンシップ派遣学生数（海外）  （うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | | (6) 官公庁へのインターンシップ派遣学生数  （うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | | (7) ＮＰＯ等へのインターンシップ派遣学生数  （うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | | (8) 国際機関等へのインターンシップ派遣学生数  （うち1ヶ月以上のインターンシップ派遣学生数） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | | (9) 海外大学等への派遣学生数  （うち3ヶ月以上の派遣学生数） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | 人  （　 人） | | (10) プログラムに参画する企業数  （うち、国外の企業数） | 件  　（　 件） | 件  　　（　 件） | 件  　（　 件） | | (11) プログラムに参画する官公庁数 | 件 | 件 | 件 | | (12) プログラムに参画するＮＰＯ等数 | 件 | 件 | 件 | | (13) プログラムに参画する国際機関数 | 件 | 件 | 件 | | (14) 学生の学会発表数  （うち、国外かつ外国語で行われた学会での発表数） | 件  　　（　 件） | 件  　　（　 件） | 件  　　（　 件） | | (15) 学生の論文発表数  （うち、レフェリー付き論文発表数）  （うち、外国語で作成した論文の発表数） | 件  （　 件）  （　 件） | 件  （　 件）  （　 件） | 件  （　 件）  （　 件） | | (16) 共同研究の実施件数（大学・研究機関）  （うち、国外大学・研究機関との共同研究実施件数） | 件  　（　 件） | 件  　　（　 件） | 件  　（　 件） | | (17) 共同研究の実施件数（企業）  （うち、国外企業との共同研究実施件数） | 件  　（　 件） | 件  　　（　 件） | 件  　（　 件） | | (18) 共同研究の実施件数（国際機関等） | 件 | 件 | 件 | | (19) 学外での研究発表による受賞件数（国内） | 件 | 件 | 件 | | (20) 学外での研究発表による受賞件数（国外） | 件 | 件 | 件 | | (21) アイデアコンペ・ハッカソン等による受賞件数 | 件 | 件 | 件 | | (22) 企業等からの経済的支援の受入件数 | 件 | 件 | 件 | | ※（22）の具体的支援内容を記入してください。 | | | | | (23) プログラム対象学生の特筆すべき業績（在学中、修了後のそれぞれについて） | | | | |  | | | | | （備考） | | | |   ※（３）②研究室ローテーションは、一人あたりの平均件数を記入してください。また、学生自身の所属研究室については件数に含めないでください。  ※（９）「海外大学等への派遣学生数」については、本プログラムにおいて、海外大学や研究所等に派遣した学生数を記入してください。  ※（１６）「共同研究の実施件数（大学・研究機関）」については、本プログラムにおける大学・研究機関との共同研究実施件数を記入してください。  ※（１７）「共同研究の実施件数（企業）」については、本プログラムにおける企業等との共同研究実施件数を記入してください。  ※（１８）「共同研究の実施件数（国際機関等）」については、本プログラムにおける国際機関等との共同研究実施件数を記入してください。  ※（２１）「アイデアコンペ・ハッカソン等による受賞件数」については、国内・国外を問いません。 | |

|  |
| --- |
| **Ⅳ．優秀な学生の獲得** |
| 以下１．～２．について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。また、取組を推進した者・部署、体制整備を主導した者・部署や学内外部署協力体制については可能な範囲で記入するよう留意してください。（例：○○長主導の下・・・／○○と△△の連携の下、～の体制を構築した。） |
| １．多様な背景を持つ優秀な学生を獲得するための工夫を行っているか、またその結果として優秀な学生を獲得できているか（優秀な学生の獲得）  （優秀な学生を集めるための工夫及び優秀な学生を選抜するための工夫並びにプログラム受講生の多様性（女性、留学生、他大学出身者、社会人学生などの状況）などがプログラムに与える人材養成面の効果も含め、記入してください。） |
| ２．学生が学修研究に専念できる経済的支援を実施しているか（経済的支援の実施）  （奨励金の受給について、選考手続、受給資格、受給条件、支給金額等についても記入してください。また、奨励金、TA・RAなどの支援に加え、大学独自予算による授業料減免などの支援を実施している場合はそれも含め記入してください。） |
| ３．奨励金等の経済的支援の受給状況  本学位プログラムの対象学生のリーディングプログラム補助金による経済的支援の受給状況について記入してください。     |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 平成２５年度 | 平成２６年度 | 平成２７年度 | | 奨励金受給学生数 | 人 | 人 | 人 | | ＴＡとして採用している学生数 | 人 | 人 | 人 | | ＲＡとして採用している学生数 | 人 | 人 | 人 | | （備考） | | | | |

|  |
| --- |
| **Ⅴ．世界に通用する確かな学位の質保証システム** |
| 以下の１．～２．について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。また、取組を推進した者・部署、体制整備を主導した者・部署や学内外部署協力体制については可能な範囲で記入するよう留意してください。（例：○○長主導の下・・・／○○と△△の連携の下、～の体制を構築した。） |
| １．グローバルに活躍するリーダーとなるに相応しい資質能力を保証する開かれた学位審査体制が構築されているか（学位審査体制の構築）  （プログラムが独自に学位を出せる仕組みとなっているかという点も含め具体的に記入してください。） |
| ２．Qualifying Examinationなど修得能力を包括評価する確かな質保証システムが構築されているか（質保証システムの構築）  （大学院設置基準第１６条の２に定める博士論文研究基礎力審査を導入しているかという点も含め具体的に記入してください。） |

|  |
| --- |
| **Ⅵ．事業の定着・発展** |
| 以下の１．～３．について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。また、取組を推進した者・部署、体制整備を主導した者・部署や学内外部署協力体制については可能な範囲で記入するよう留意してください。（例：○○長主導の下・・・／○○と△△の連携の下、～の体制を構築した。） |
| １．学長を中心とした責任あるマネジメント体制が構築されているか（マネジメント体制の構築） |
| ２．客観的な数値目標の設定や自己点検評価体制、外部評価体制等が的確で、産業界や学生の声等も踏まえた採択プログラムの検証・改善が図られているか（ＰＤＣＡサイクルの構築）  （客観的な数値目標を設定している場合には、その設定根拠を含めて記入してください。また、大学による自己点検評価や外部評価を実施している場合は、その評価の概要について記入してください。） |
| ３．支援期間終了後の学位プログラムの定着・発展に向けて、具体的な取組に着手しているか。また、それに加えて、採択プログラムに参画していない研究科や専攻も含め大学院全体として学位プログラムの導入に向けた具体的な取組に着手しているか（定着・発展のための取組状況）  （教育面、財政面、体制面から具体的に記入してください。） |

|  |
| --- |
| **Ⅶ．審査結果の留意事項・フォローアップの指摘事項への対応** |
| 審査結果の留意事項及びフォローアップの指摘事項への適切な対応について  ・審査結果の留意事項及び参考意見について適切な対応がなされているか  ・現地視察報告書の意見について適切な対応がなされているか  ・ＰＯフォローアップ報告書の課題・意見等について大学として検討・対応がなされているか  について、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。   |  |  | | --- | --- | | 審査結果の留意事項及び参考意見 | 対応 | |  |  |  |  |  | | --- | --- | | 現地視察報告書の意見 | 対応 | |  |  |  |  |  | | --- | --- | | POフォローアップ報告書の課題・意見等 | 検討・対応 | |  |  | |